

ACTFL - OPI ファミリアライゼーション ワークショップに参加して

留学生センター日本語講師 上野 美代子

I. はじめに

平成12年7月16日（日）福岡センタービルで開催された ACTFL¹⁾ - OPI²⁾ ファミリアライゼーション ワークショップに参加した。本稿では ACTFL-OPI のあらましを紹介すると共に会場で行われたインタビューとロールプレーの実例を示し分析を行う。

- 1) The American Council on the Teaching of Foreign Languages
 - 2) Oral Proficiency Interview

II OPI とは

ACTFL 機関では1986年に、米国政府機関や米国の省庁の情報機関で使われている言語を基に「ACTFL 能力基準」を定めた。これは各レベルの言語タスクを遂行する能力を測る尺度として広く使われてきた。これにアメリカ合衆国の学校レベル（特に大学レベル）に於いての使用を目指し「ACTFL 言語運用能力基準」として再編されたものがOPIといわれる口頭試験モデルである。OPIは ACTFL の活動の中の一つとして運営されている。

OPI は インタビュー形式による会話能力テストであり、これにより言語運用能力の範囲を決める。

OPI の対象言語は・・・ アラビア語、ブルガリア語、広東語、ドイツ語、ロシア語 など
約40カ国語。

OPI の利用団体は・・・ アメリカ大使館、CIA、AT&T、NASA など。

III. インタビューのデモンストレーション (30分)

インタビュアー：牧野成一米国プリンストン大学東洋学部教授

被験者：中国人、専門学校の女子学生

(先生)	(学生)
	〔 学生の会話はなるべく普通通りに記述した。 〕
	〔 従って明らかなまちがいも含まれる。 〕
おはようございます。	おはようございます。
何処に住んでいますか。	博多に住んでいます。
何でここ迄来ましたか。	先生が車で連れてきました。
何分位ですか。	15分位です。
いつ博多に来ましたか。	去年の10月。

今 どんな事をしていますか。…………… 日本語の勉強。
お国は。…………… 中国。 コナン省です。
コナン省の町の名前は。…………… ショウタン。
↑ ショウタンはどんな町ですか。先生が …………… 大きくないですが綺麗な町で毛沢東の生ま
行きたくなるような説明をして下さい。…………… れた所です。

注: ↑ は突き上げ質問と教授者は解説している。回答者の発話を引き出したり、
時に難易度の高い文章を产出させるためである。

毛沢東の生まれた家がありますか。…………… 50年前の古い家です。
どんな家ですか。
旅行者が来ますか。…………… はい、多く来ます。
↑ その家はどんな家ですか。目に浮かぶ…………… 一つの家……(一軒家のこと)
様に説明して下さい。…………… 寝室が二つ、居間が一つ。豚を飼っている。
農村の家。
↑ 家という漢字には豚の字が有りますね。…………… (少し考えて) 有りません。
ラナさんはどんな家に住んでいますか。…………… 中国の家は6階で会社のアパート。
居間が一つ、ダイニングが一つ、
ベットルーム一つ。
↑ ラナさんの住んでいる町は博多と…………… 博多より賑やかくないが、人は親切で
どんな所が違いますか。…………… 優しいです。

注: 牧野教授は家の様子を、周りの景色とか家の構造を入れてもう少し詳しい説明を要求
したが言えなかった。住んでいる所の比較では乗り物の事とか町の中の様子など物理的
な答えを求めたが 優しいとか、親切とか言う言葉しかでてこなかった。けれども、上
級で要求してい「段落」を使っていたので「上級の下」と教授は判定。
(被験者の仮レベルを決めた)

毎日日本語を勉強していると言いましたね。…… 12時まで寝ていました。
昨日何をしましたか。…………… アルバイトです。
どんなアルバイトをしていますか。…………… オールスタッフ。
どんな仕事ですか。…………… (接客の仕事)

↑ そういう所で働いていて面白い事、…………… 色々な人と話して色々経験が出来る。
面白くない事を言ってください。…………… 料理の味付けとか聞かれた時言葉が

わからない。

そこ（働いている所）で料理を食べている …… 家で食べる。ラーメンを作ります。

訳ではないですね。自分で作りますか。

中国にいる時はどうでしたか。 ……………… 余り作らない。お母さんが作っていました。

ラーメンより美味しい料理は作りませんか。 …… 自分では作りません。

料理は趣味ですか。 ……………… はい。

注：アルバイトのことがどう答えられるか、前後の脈絡で教授は質問していった。

料理の作り方を聞き、段落、手順、単語力を見ようとしたがラーメンしか作らないとの答えだったので教授は話題を変える。

趣味は何ですか。 ……………… 旅行です。

なぜ旅行が趣味ですか。旅行は何処か …… 色々な所へ行って情報が得られるからです。

行きましたか。

↑どんな情報が面白かったですか。 ……………… 自分の所との習慣の違いが面白いです。

↑中国と日本の習慣の違いを詳しく ……………… 日本料理は生で食べるが中国料理は炒めます。

中国は朝ラーメンを食べます。

日本料理と中国料理とどちらが ……………… 日本食です。

健康的ですか。

↑どうして日本食が健康的ですか。 ……………… 魚とか生で食べるから日本人は長生きする。

↑日本女性と中国女性の社会的地位を ……………… 中国です。

比べてどちらが高いと思いますか。

それはどうしてですか。 ……………… 中国では男と女と同じ給料。

日本の女性は働かなくて家にいます。

それをどう思いますか。 ……………… 日本の女性も働いた方が良いと思います。

↑私の考えでは無いが、日本の戦後の工業化、

産業化にはそうした女性が家を守ったから

そうなったという考え方も出て来るが… …… (うなずくだけ)

↑日本は少子化の問題が有るが

(少子化の意味が分からぬので言いかえる)

日本は子供の数が少なくなっている。 ……………… 日本の女性は子供を産むと仕事のチャン

少子化の原因は女の人が子供を産みたくないから。 スがなくなるが中国はちがう。

少子化が進むと日本はどうなりますか。

女性は長く働きたい。日本女性も段々中國に近づいていると思うが‥

中国でも少子化があるが、日本女性は自分から進んで子供を産まない。

中国は政府の政策でそうしている。

上からの政策をどう思いますか。 良いと思います。

↑それは個人の問題ではなですか。 中国は人口が多すぎます。

子供が多いと生活水準が低くなります。

↑中国人はアメリカへも行っている。 農村の女性は子供を産みたい。

随分広がってきてている。

子供が多い方がいい良いと思っているが、

工業力を盛んにするには人が多い方が

子供が多いと良い教育が出来ない。

良いのではないか。

ラナさんは結婚した場合どうしますか。 子供は二人でいいです。

IV. ロールプレー (10分程度)

インタビューに出た事の引っかかりからロールカードを作る。

(1) ラナさんが日本人男性と結婚しました。子供を何人欲しいか。 (casual speech)

夫は 3人を希望している。

妻は 2人を希望。

夫婦の会話

(夫)

(妻)

ラナ、子供は三人くらい欲しいと 仕事が忙しいから三人は多い。

思うがどうかね。

年を取ってから子供が多い方が 三人いたのが大変。

孫も多くなるから後で楽しくなる。 良い子だったら一人でいい。

今苦しむか、後で苦しむか、

学校へ行くのもお金がいる。

三人良い子だったらいいんじゃないかな。 じゃ、二人でいい。

(2) 複雑なロールプレー

(formal speech)

卒業式の挨拶をする。(30秒位言う事を考えさせて後発表させた。)

結果：文法の間違いはあったがコミュニケーションが出来ている。しかも、段落を使ってい
る。 敬語は身についていない。 casual な会話が出来ない。 段落が使え多少ぎこちなく
ても、困難なく会話が理解出来る。教授の判定は 仮レベルと同じ上級の下。

V. まとめ

OPIは会話能力をテストするための物差しを作り、その物差しの中の細かい基準を決めている。レベルは大きく超級、上級、中級、初級の4つに分けられていて、更に上級、中級、初級の中を上、中、下と細かく分けている。OPIによって被験者の言語運用能力の範囲を決める。OPIは四つの段階で進められていく。

導入部 会話が出来る中級レベルを想定して始める。挨拶や肩の凝らない簡単なやりとり。

レベルチェック あるレベルを特徴づけたタスクが出来るかどうか見る。被験者の無理なく話せるレベルを見極める質問をする。着実に正確に処理出来るレベルを判定する。
↑ ↓ 印は「突き上げ」を行い、被験者が答えられない場合は「レベルチェック」に戻すという意味である。

突き上げ あるレベルのタスクと話題をこなす事が出来る確認があれば次の段階の突き上げに進む。被験者が言語的になにが出来ないかを発見する。

終結部 被験者の運用能力を楽なレベルに戻す。肯定的な雰囲気で終結させる。インタビューの時間は30分。インタビューの後 ロールプレーをする。(あるレベルのロールプレーと複雑なロールプレーの2つをする。)

OPIの評価はアメリカ合衆国ではかなりの権威を有している。例えば、アメリカ合衆国のある大学では、OPI判定が超級にならないと卒業出来ない。又、ビジネス学校ではOPI判定そのものが仕事選びに結びついてくるほどである。日本では10年前から知られ始め浸透してきている。

VII. 考察

「ACTFL」という名前を聞くのも初めて、また、「OPI」という言葉を聞くのも初めてだったが、平成12年7月16日福岡市で開催されたワークショップに参加して来た。

OPIはインタビューによる会話能力試験である。発話を引き出すのに、「導入部 warm-up」、「レベルチェック level -checks」、「突き上げ probes」、「終結部 wind-down」と四段階の過程があり、この四段階を確実に守りながらインタビューは進められていく。インタビュアーは適切な発話サンプルを抽出するためOPIの最中もずっと被験者の発話を評価し続ける。

又、インタビューの最中に被験者の仮レベルを決める。そして録音されたテープを聞いて最終判定をする。(試験管がOPIの最中に決めた判定が最終判定に近い方が望ましい。)

判定に至るまでには大変複雑なものがあるり、(被験者にとってその発話が興味のあるもの、得意分野のものであったり又、それとは全く逆であったりした時何処まで興味を掘り下げていくのか、話題の考え方..など)発話の引き出し方の難しさを痛感した。発話の引き出し方のテクニッ

ク、インタビュアーの力の問題も判定に影響してくるのではと思われる。

判定の基準の目安はあるものの、判定は判定尺度と照らし合わせ、更に下位レベルの尺度と照らし合わせて判定を決めるという複雑さもあり、それ故心理的に振り回された判定にならないだろうかという疑問も残った。

ロールプレーの一つ、子供の数についての夫婦の会話は、プライバシーやタブー意識に触れる側面があり、人前では思うように会話も進まないのではないかと思われた。インタビューの中で被験者が少子化の問題に食い下がって来たからだらうが、設定にはもう少し何らかの配慮があつてもよかつたのではないか、と考える。

インタビューのデモンストレーションを聞きながら、言葉を教える際は、文法を正確に分からせなければならぬこと、文法を無視しては被験者を上に上に導いていく事は出来ないことを痛感した次第である。

参考資料

『ACTFL-OPI ファミリアライゼーションワークショップ（入門講座）』、アルク日本語事業部、
ACTFL 事務局発行（平成12年7月16日配布資料）